

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

事業者名：有限会社ほほえみ

※実施内容については、要綱別紙2「介護員養成研修における目標、評価の指針」（介護職員初任者研修課程）を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容
1 職務の理解	6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解	
(1) 多様なサービスの理解		3	3	/	(1)	
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		3	3	/	(2)	
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援	
(1) 人権と尊厳を支える介護		4	0.5	3.5	(1)	
(2) 自立に向けた介護		5	1.5	3.5	(2)	
3 介護の基本	6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本	
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		1.5	1	0.5	(1)	
(2) 介護職の職業倫理		1.5	1	0.5	(2)	
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		1.5	1	0.5	(3)	
(4) 介護職の安全		1.5	1	0.5	(4)	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携		9時間
(1) 介護保険制度		
(2) 医療との連携とリハビリテーション		
(3) 障がい福祉制度及びその他制度		
5 介護におけるコミュニケーション技術		6時間
(1) 介護におけるコミュニケーション		
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		
6 老化の理解		6時間
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		
(2) 高齢者と健康		
7 認知症の理解		6時間
(1) 認知症を取り巻く状況		
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		
(4) 家族への支援		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度	3	0.5	2.5	(1)
(2) 医療との連携とリハビリテーション	3	0.5	2.5	(2)
(3) 障がい福祉制度及びその他制度	3	0.5	2.5	(3)
5 介護におけるコミュニケーション技術	時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	(1)
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	(2)
6 老化の理解	時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	(1)
(2) 高齢者と健康	3	1.5	1.5	(2)
7 認知症の理解	時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況	1.5	1	0.5	(1)
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1	0.5	(2)
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	1.5	1	0.5	(3)
(4) 家族への支援	1.5	1	0.5	(4)

8 障がいの理解		3時間
(1) 障がいの基礎的理解		
(2) 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75時間
ア 基本知識の学習		10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方		
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間
(4) 生活と家事		
(5) 快適な居住環境整備と介護		
(6) ADLとIADL		
(7) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(8) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(9) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		

8 障がいの理解	時間数	うち通学	うち通信
(1) 障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5
(2) 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5
9 ころとからだのしくみと生活支援技術			
ア 基本知識の学習	時間数	うち通学	うち通信
(1) 介護の基本的な考え方	3	3	0
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	4	3	1
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3	3	0
イ 生活支援技術の講義・演習	時間数	うち通学	うち通信
(4) 生活と家事	4	3	1
(5) 快適な居住環境整備と介護	4	3	1
(6) ADLとIADL		0.5	0
(7) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	3	1
(8) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1
(9) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1

8 障がいの理解	
(1)	
(2)	
(3)	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1)	
(2)	
(3)	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	

第1-2号様式

(10) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	(10)
(11) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	(11)
(12) 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	(12) 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	(12)
(13) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	(13) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	7	6	1	(13)
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学	うち通信	ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(14) 介護過程の基礎的理解	5	4	1	(14)
(14) 総合生活支援技術演習	(15) 総合生活支援技術演習	6	5	1	(15)
10 振り返り 4時間	10 振り返り	時間数	うち通学	うち通信	10 振り返り
(1) 振り返り	(1) 振り返り	2	2		(1)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2		(2)
追加カリキュラム					
計 (130時間)	計 (130時間)				

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。

※ 時間配分の下限は、30分単位とする。

※ 項目ごとに時間数を設定すること。

※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）

※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。